

レジ袋型の市指定ごみ袋が販売開始

レジ袋型の尾張旭市指定ごみ袋が発売されました。現在取り扱い店舗は庄中町のピアゴなど数店舗ですが「レジ袋大の指定ゴミ袋を作って欲しい」という以前の要望が実現しました。

ごみ減量を第一に 要望には反応弱く

名古屋市の指定ゴミ袋に、レジ袋大のライオンナップがあり、一部スーパーなどでレジ袋の代わりに名古屋の指定ゴミ袋を渡す店舗が現われました。10年ほど前のことです。

特に一人暮らしの高齢者などでは、45L、30Lのサイズでは、ゴミ袋はなかなか一杯にならず大きすぎる。尾張旭市でもレジ袋大の指定袋を導入して欲しいという要望が聞かれ、大きく見解が変わり、



ピアゴで早速買ってきました。
20枚入りは売り切れ。仕方なく100枚入りを購入



今年1月開催された廃棄物減量等推進審議会では、逆に市からレジ袋大の指定ゴミ袋導入を提案しています。

ごみ減量と合わせ た取り組みを

過去の議事録を振り返り、あらためて感じた市の姿勢は、第一義的に『ごみの減量』があり、その推進に寄与すると考えられた場合、指定ゴミ袋のサイズを追加してきたということでした。ごみ減量が第一、というのは理解のできることで、指定ゴミ袋導入直後からレジ袋大のものを求める声があったのに、それに耳を傾けることなく推移したのは、レスポンスの悪い姿勢だったと思えます。ごみ減量と矛盾しないように市民要望を実現してゆくことを、真摯に検討していれば、もっと早く導入されていたかもしれませぬ。

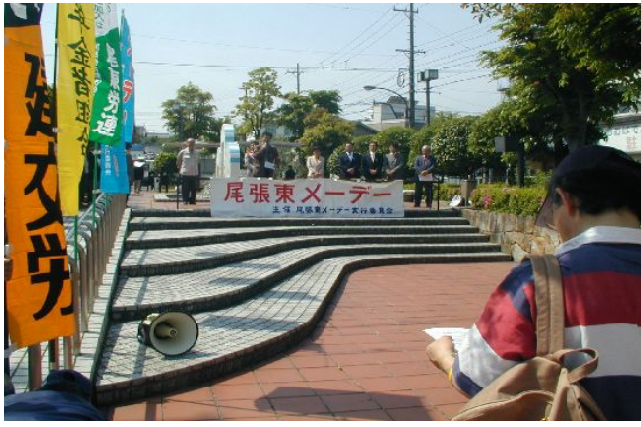


冒頭で書いたように、マイバックを忘れて買い物をするれば、5円でレジ袋を買う羽目になります。指定ゴミ袋の替わりに、指定ゴミ袋を売るという行為は、容器リサイクル法に抵触するという愛知県の見解があり（1月の廃棄物減量等推進審議会議事録）市から積極的に提案できないそうです。

これでは『ゴミ袋の中に、ゴミ袋として使ったレジ袋が入っている』ごみ減量につながらない現状は変わりにくいと思えます。県の見解を緩和させることが望まれますが、レジ横で指定ゴミ袋をばら売りしてくれば、たまにしか買い物に行かず、ついマイバックを忘れてしまう家人が、レジ袋の替わりに指定ゴミ袋を購入するのではな



いかと思えます。現在、販売されているレジ袋型の指定ゴミ袋には、バーコードが印刷されており、ばら売りには不向きなので改善も必要です。家族構成にもよりますが、プラスチックやミックスペーパーなどの分別をしっかりとれば、家庭から1回に出す可燃ごみは、レジ袋大の大きさを済むようになる。そうしたライフスタイルを提案し、促してゆく広報を市が力を入れてゆくことも求められます。



09 尾張東メーデー @瀬戸宮川モール



訂正

前号、旭民報485号で紹介した、名鉄瀬戸電の乗降客数が、尾張旭市の駅以外は約半分の数字だったとわかりましたので、訂正します。

名古屋、瀬戸が発行する統計では乗客数を公表し、尾張旭のものでは乗降客数を掲載しているという違いに気づかず、間違いが起きました。ご指摘、ありがとうございます。訂正後の表などは以下のようになります

市指定ゴミ袋のサイズに関する議会質問の推移(粹)

(市議会議事録より)

- 99年2月、45L・30L 2種類の指定ゴミ袋で、市域の一部で回収開始
- 99年6月議会、丹羽議員(公明)「もう一つ小さいサイズを」求める
- 99年10月、全市域で指定ゴミ袋導入
- 00年9月議会、川村議員(共産)「レジ袋大の指定ゴミ袋導入」

を求める。

「今後のプラスチック製容器包装の分別回収が定着すれば、燃えるごみの容量が大幅に減ることが考えられ、その際に小さなごみ袋の導入について研究したい」と答弁。

- 01年10月、プラスチック製容器包装の指定袋、市域の一部で開始

- 05年3月議会、早川議員(市ク)「レジ袋大の指定ゴミ袋導入」

を求める。

「直接、市民からの要望は聞いていない。市は買い物袋等の持参(マイバック運動)を消費者に奨励する立場」と答弁。

- 08年6月議会、水野議員(市ネ)「名古屋や春日井で取組んでいるレジ袋大の指定袋を検討する考えはないか」と質問。

「中小小売業者がレジ袋の無料配布を取りやめてゆく手法として、レジ袋の指定袋化も視野に入れてゆきたいと考えている」と答弁。

- 08年9月議会、水野議員(市ネ)6月議会以降の検討結果を質し、

「市では、現時点におきまして、名古屋市のように店頭にあるレジ袋をそのまま認定して、燃えるごみを排出できるようにする考え方は持っておりません。10月ごろからレジ袋の削減運動とあわせて、10リットル程度のレジ袋型の燃えるごみの指定袋を新たに導入することに対して、市民や小売り店舗がどんな考え方をお持ちなのか、意識調査をしたいと考えております。その意見を踏まえた上で、認定業者や指定ごみ袋取扱店組合と意見調整を図りながら、最終的な作成の可否につきまして、来年1月開催予定の廃棄物減量等推進審議会に諮って決めてまいりたいと考えております。」

年度	栄町	東大手	清水	尼ヶ坂	森下	大曾根	矢田	守山自衛隊前	瓢箪山	小幡	喜多山	大森・金城学院前
2003(H15)	42,813	4,203	2,325	2,784	2,095	21,717	712	2,095	4,011	11,322	6,208	10,668
2004(H16)	42,045	4,195	2,306	2,874	2,001	23,121	713	2,083	4,027	11,335	5,969	11,041
2005(H17)	41,676	4,104	2,338	3,042	2,025	24,610	714	2,007	3,936	11,494	5,868	11,653
2006(H18)	40,659	3,946	2,329	3,040	2,108	25,972	904	2,070	3,858	11,235	5,906	11,813
2007(H19)	40,765	3,652	2,185	3,076	2,156	27,471	970	2,141	4,016	11,354	5,866	12,097

前年比

05→06	97.6%	96.2%	99.6%	99.9%	104.1%	105.5%	126.6%	103.2%	98.0%	97.7%	100.7%	101.4%
06→07	100.3%	92.5%	93.8%	101.2%	102.3%	105.8%	107.4%	103.4%	104.1%	101.1%	99.3%	102.4%

H18→H19で減少した駅

印場	旭前	尾張旭	三郷	水野	新瀬戸	瀬戸市役所前	尾張瀬戸
3,752	4,507	7,283	9,708	3,636	9,626	1,381	10,364
3,850	4,538	7,386	9,715	3,490	9,845	1,398	10,160
3,921	4,595	7,494	9,808	3,830	9,981	1,486	10,862
4,022	4,566	7,454	9,574	3,948	9,760	1,660	10,155
4,256	4,488	7,637	9,674				

102.6%	99.4%	99.5%	97.6%	103.1%	97.8%	111.7%	93.5%
105.8%	98.3%	102.5%	101.1%				

データは、名古屋市、尾張旭市、瀬戸市作成の統計資料を各自治体ホームページから入手し加工したものです。名古屋の資料には、乗降客ではなく乗客数が掲載されているため、

〔(総数-定期券利用)/365+(定期券利用/360)〕×2の計算式で算出。尾張旭市は統計に記載はありますが、下線の式で算出したため、数字の丸め方の違いで市資料とは、異なる部分があります。瀬戸の統計には乗客数の記載しか無いため、単純に365で除したものを2倍しています。名古屋と瀬戸の数値は、比較のための便宜的な値と考えてください。